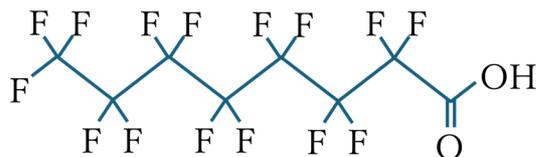


## 有機フッ素化合物のポリエチレン管への浸透に関する見解

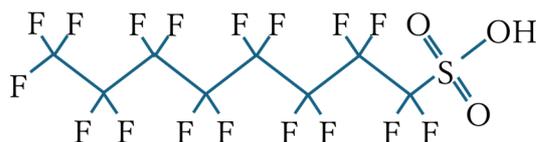
### 1. PFOA、PFOSとは

PFOA と PFOS は以下の様に8つの炭素からなる有機フッ素化合物でそれぞれカルボン酸（-COOH）、スルホン酸（-SO<sub>3</sub>H）といった極性基が結合した物質である。その難分解性、生物蓄積性、人及び動植物に対する慢性毒性から令和2年に水道の水質管理目標設定項目に位置づけられたが、令和7年に水道水質基準への引き上げの省令改正が公布され、令和8年4月1日に施行される。

① PFOA ペルフルオロオクタン酸：C<sub>8</sub>HF<sub>15</sub>O<sub>2</sub>



② PFOS ペルフルオロオクタンスルホン酸：C<sub>8</sub>HF<sub>17</sub>O<sub>3</sub>S



### 2. PFOA、PFOS のポリエチレン管への浸透性

PFOA、PFOS は図の様に極性基を有しているための水への溶解性が高い。一方、PE50、PE80、PE100などのポリエチレン樹脂は、有機フッ素化合物を含まず、極性基をもたない非極性の樹脂であるため、PFOA や PFOS といった極性基を持つ物質を通さない性質があり、万が一、ポリエチレン管に接しても壁面から透過することはないと思われる。このことは、PFOA と PFOS の分析を行う場合、一般にポリエチレン容器で採水されることが多いことから、影響がないと考えられる。

以上